

授業実践満載の月刊誌『新英語教育』の研究会

新英語教育研究会 New English Teachers' Association

第53回全国大会 福島大会

主催：新英語教育研究会 後援：福島県教育委員会・郡山市教育委員会・福島大学

2016年

7/30(土)～8/1(月) 磐梯熱海温泉 ホテル 華の湯 〒963-1309 福島県郡山市磐梯5丁目8-60
TEL024-984-2222



すぐに使えて
元気の出るアイデアがいっぱい!



7/30(土)

受付 12:00

開会行事 山木屋太鼓 12:45～13:20

原発事故で居住制限区域になっている山木屋。
メンバーの多くが避難生活の中で活動しているグループ。

記念講演 高橋 哲哉氏 13:45～15:30

「戦後70年をこえて」
日本人として考えたいこと

新英研講座 15:40～17:40

I. 小学校英語

英語ってすごい、おもしろい!～自分で考えて仲間とつながる小学校英語～

II. 中学1年の授業

One for all, All for one ～全員参加の授業を目指して～

III. 中学2年の授業

学力差も個性も、授業づくりのスパイスに!

IV. 中学3年の授業

義務教育最後の年につけたい力は?～大人になっても英語を身近に感じてほしい～

V. 高校の授業(やさしい教科書)

英語で考える授業を目指して～表現することを楽しむ活動例～

VI. 高校の授業(比較的難しい教科書)

受験勉強を英語の学びのチャンスに～あせらず、じっくり読解や文法を学ぶ～

VII. 大学の授業

「英語なのに楽しい」授業の報告～新英研の実践研究から何を学んだか～

8/1(月) テーマ別分科会・ワークショップ
9:00～11:00

1. 松川事件資料と世界記憶遺産
2. 福島の復旧・復興の現状と課題
3. 朝河貫一の生涯から学ぶ
4. 英語の授業で映像や音声
5. 教科書の本文を楽しく、効果的に扱う方法
6. アメリカの高校生の日記を読む

オプション・ツアー(被災地訪問/裏磐梯散策) 13:00～

▶ 新英研ホームページ ◀
<http://www.shin-eiken.com>
Facebook 新英語教育研究会全国大会

7/31(日)

モーニング・ポエム 8:00～8:40

英語教材販売“福島バザール” 12:00～13:15

ポスター・セッション&シリア写真展 12:00～13:15

分科会 9:00～12:00
13:15～16:45

1. 教科書・自主教材

- “Visas for 6,000 Lives”読み取り教材の実践
- ネルソン・マンデラの授業

2. 読み取り

- 中学校1年からの読み取りの授業
- 教科書を批判的に読む

3. 英文法

- つまずきの回復から表現活動へ～使い方を知って楽しむ英語の授業～
- 英語の基本は主語述語～Be動詞、Do動詞の指導を中心に～

4. 音声

- 「音」で始まり「音」でしめる英語の学び
- プレゼンテーション、スピーチなどによる自己表現の魅力を求めて

5. 学力と評価

- 中富良野町内・周辺おすすめスポットチラシを作ろう!
- “Tell me why you think so.”～間違いや「わからない」は宝箱～

6. 仲間と学び、自ら学ぶ力

- “I am here for you.”～じっと見守り、そっと寄り添う～
- チームで取り組んだ「コミュニケーション英語」授業づくり

7. 「遅れがちな子」への取り組み

- どの子もわかり、顔の上がる授業を目指して取り組んできたこと
- わかる喜びと世界の広がりをみんなで分かち合おう

8. 自己表現

- 生徒の自己表現を作文やスピーチでより豊かに!
- Journal指導と英語紙芝居 Presentation

9. 平和・環境・人権

- 今の私に何ができるか～協同学習で考える国際理解～
- 中学校におけるグローバルシティズンシップ教育の可能性

10. 入門期の英語

- ことばへの気づきを大切にした小学校外国語活動
- 中1の授業における私のこだわり

大会スローガン: すべての子どもたちに外国語を学ぶ喜びと平和な未来をひらく力を

Message

新しい英語教育の協働を目指して

新英語教育研究会会長 瀧口 優

英語教育は人間教育

新英語教育研究会（新英研）は、1959年に創立されて以来、一貫して英語教育は人間教育であるとの理念のもとに、研究と実践を重ねてきています。今年は福島県で大会を開催することになりました。2011年の東日本大震災による被害、とりわけ福島第一原子力発電所の崩壊による放射能の流出は、人間が人間として生きる事への根本的な問いかけをしています。5年たっても故郷に帰れない人々がたくさんいる現実、人間中心の文明への警鐘でもあります。

子どもの現実と英語教育のギャップ

英語教育の現場では、小学校高学年に外国語活動が導入されてから5年が経過し、様々な問題が出されてきています。また中学校や高校においては英語で英語の授業などが求められ、子どもの現実から出発できないで悩んでいる英語教師が少なくありません。大学においても外部試験の点数を取るための授業が強制され、英語を豊かに学ぶことが難しくなっています。

すべての子どもたちに外国語を学ぶ喜びを

新英研はこうした状況の中で、すべての子どもたちに外国語を学ぶ喜びを伝え平和な未来をひらく力をつけるためにどうしたらいいのかをテーマに大会を開催します。多くの英語教員、あるいはこれから英語教員になろうとしている学生の皆さんの参加を心よりお待ちしております。

Timetable

| | | |
|---------------------------------|-------------------------------|--|
| 7月30日（土） 第1日 | 7月31日（日） 第2日 | 8月1日（月） 第3日 |
| 10:30～11:30 全国常任委員会 | 7:00～ 8:30 朝食 | 7:00～ 8:30 朝食 |
| 11:30～12:00 全国委員会 | 8:00～ 8:40 モーニングポエム | 9:00～11:00 テーマ別分科会 |
| 12:00 受付開始（昼食） | 9:00～12:00 分科会（第1部） | ワークショップ |
| 12:00～12:30 講座打ち合わせ （昼食会場にて） | 12:00～13:15 昼食 | 11:10～12:00 閉会行事 |
| 12:45～13:20 開会行事 | 福島バザール ポスターセッション シリア写真展 | 12:00～13:00 昼食 |
| 13:45～15:30 記念講演 | 13:15～16:45 分科会（第2部） | 12:00～12:30 総括会議 |
| 15:40～17:40 新英研講座 | 17:00～17:45 研究者集団の会 | オプションルツアー |
| 17:45～18:30 分科会打ち合わせ | 17:45～18:15 運営委員会 | A: 被災地訪問コース 13:00～18:10 ※現地を案内していただける方に添乗していただきます。 |
| 18:30～20:00 夕食 | 18:00～19:30 夕食 | 13:00 ホテル発 → (磐越道)→いわきIC→(常磐道)→富岡IC→富岡町 →第一原発付近通過→浪江町→浪江IC→南相馬IC→飯館村→18:10 福島到着 |
| 18:45～19:15 運営委員会 | 19:00～20:45 新英研総会 | B: 裏磐梯自然探索&野口英世記念館コース 13:00～17:00 ※五色沼ハイキングにはガイドが同行します。 |
| 20:00～21:00 ブロック別交流会 | 20:50～22:20 シネマナイト | 13:00 ホテル発 → 五色沼ハイキング → 野口記念館 → 猪苗代湖 → 17:00 郡山到着 ※歩ける準備を。天候によっては変更あり |

7月31日(日) 新英研シネマナイト 20:50～22:20



フクシマに向き合う青春
ドキュメンタリー映画

種まきうさぎ

原発事故の被災地・福島の高校生たちが東日本大震災と福島の姿を知ってほしいと全国の高校生・若者に呼びかけた。福島を農民、漁民たちの大地・海への想い、核の時代を生きる若者たちのいまを描くドキュメンタリー映画。

※上映前に、映画に出演した福島の生徒たちがあいさつをします！

I. 小学校の外国語活動

英語ってすごい、おもしろい！
～自分で考えて仲間とつながる小学校英語～

綾部 文（東京・小）

英語との出会いを心に残るものにするために、教え込みではなく子どもと共に考え創造する外国語活動の可能性を探りましょう。低・中・高学年での実践を紹介しながら考える講座です。

II. 中学1年の授業

One for all, All for one
～全員参加の授業を目指して～

植野 由希恵（埼玉・中）

3月で定年退職。これまでの授業を振り返って、発表したいことが山のようにあり何を削るか頭を悩ましています。実際の授業の流れ、授業プリント、全員参加の授業のための工夫、etc。

III. 中学2年の授業

学力差も個性も、授業づくりのスパイスに！

吉岡 潤子（東京・中）

さまざまな生徒たちの個性があふれ、生徒も教師も笑顔で、高め合える授業づくりを目標に、提出物、課題をやり抜く工夫、個人、ペアやグループを使った活動の紹介。

IV. 中学3年の授業

義務教育最後の年につけたい力は？
～大人になっても英語を身近に感じてほしい～

富崎 千賀（福岡・中）

受験があるから、1, 2年の復習もしたい、3年の内容も進めなければ。でも、英語って受験の手段だけでなくって、世の中とつながる手段で、英語を学ぶ目的は世界平和のハズ。

V. 高校の授業（やさしい教科書）

英語で考える授業を目指して
～表現することを楽しむ活動例～

小原 百合子（静岡・高）

英語に苦手意識を持つ生徒たちも、「英語で話してみたい！」という強い希望はもっています。簡単な英語のできる取り組みやすいスピーチやディスカッションの活動例を紹介します。

VI. 高校の授業（比較的難しい教科書）

受験勉強を英語の学びのチャンスに
～あせらず、じっくり読解や文法を学ぶ～

片岡 英明（茨城・高）

英語苦手の進学クラス。教科書はElement。(啓林館)生徒は教科書を深く読む、考える文法、要約の方法など学びの本質に迫る指導で、模試で失敗しながら、各自の学びが始まり、学力がつく。

VII. 大学の授業

「英語なのに楽しい」授業の報告
～新英研の実践研究から何を学んだか～

池田 真澄（東京・大）

学生の感想に「英語なのに楽しかった」とあった。英語ができる学生でも英語は楽しくないと感じている。新英研で学んだことを私なりにまとめ、「英語だから楽しい」分かる授業の作り方を考えたい。

お知らせ

「福島と世界をつなぐ情報メディアリテラシー」

ユネスコスクールでの児童生徒による交流と、テーマのある小学校英語活動を追求したトルコとの交流の報告

日時：2016年8月1日(月)午後2時より4時まで

場所：福島県郡山市内

報告：坂本 旬（法政大学）、坂本ひとみ（東洋学園大学）

共催：アジア太平洋メディア情報リテラシー教育センター（AMILEC）
福島ESDコンソーシアム

後援：新英語教育研究会 問合せ：浅川 和也（kasan@mac.com）

詳しくは、新英研ホームページでお知らせします。

<http://www.shin-eiken.com>

1. 教科書・自主教材をどう検討し、どう扱うか

☆自分で書く長文問題 小川 弘義 (新潟・高)

●“Visas for 6,000 Lives” 読み取り教材の実践
榎本 美津子 (神奈川・中)
Columbus 3 の Let's Read 教材の中にある “Visas for 6,000 Lives” をパワーポイントを使い工夫して充実感のある授業をねらいとした実践の紹介。

●ネルソン・マンデラの授業 伊藤 晃 (長野・高)
本文を訳読するだけでなく、マンデラをよく知るために2本の関連映画を視聴し、図書館での調べ学習後にマンデラ新聞をグループで作らせ、プレゼンしてもらった。

3. 英文法をどう考え、どう教えるか

☆Fun, Fun カードを使って英文を作ろう♪授業を盛り上げるカード作り
檀上 小百合 (広島・中)

●つまずきの回復から表現活動へ～使い方を楽しく英語の授業～
田中 容子 (京都・高)
英語を使ってする表現活動が次の学びへの原動力となっている生徒たちの姿を文法学習の背景を紹介しながら、担当者複数で報告します。

●英語の基本は主語述語～Be 動詞、Do 動詞の指導を中心に～
荒木 好枝 (東京・中)
入門期の生徒には、英文の基本構造をしっかり身につけさせたいと思っている。Be 動詞、Do 動詞 (一般動詞) の指導を中心に、そのためにおこなった様々な工夫を報告したい。

5. どんな学力を目指し、どう評価するか

☆子どもたちをつなげる実践～協同学習やアドラー心理学を通じて～
高瀬 翔太 (大阪・中)

●中富良野町内・周辺おすすめスポットチラシを作ろう！
嵯峨 紗邪華 (北海道・中)
One World 3 の「自分たちの町のガイドブックを作ろう！」を元に「地域に役立てる」形に出来ないかと、「JRの駅に貼る」ことを目標に進めました。

●“Tell me why you think so.”～間違いや「わからない」は宝箱～
齊藤 貴子 (埼玉・高)
「どうしてそう思ったの？」と聞いてみると、大抵、ちゃんと理由がある。間違いや「わからない」は宝箱。生徒とともに学んでいる普通の授業を報告します。

2. 読み取りの力をどう高めるか

☆名作鑑賞“Life and Nature”～最後は「葉っぱのフレディー」で～
野崎 龍作 (福岡・中)

●中学校1年からの読み取りの授業 桑原 孝 (宮城・中)
中学1年3学期、文の組み立てを足場にした説明文の読みとり。未知の単語があり、文が長い、でも、文構造を手がかりに、文を頭から、流れに沿った予想を立てて読み進める、そんな授業を提案します。教材は BUTTERFLIES, DK。

●教科書を批判的に読む 新井 綾 (埼玉・高)
事実の記述と著者の意見を区別して教科書本文を読み、読み手自身の意見を引き出すことを目指します。

4. 音声を重視して、どう教えるか

☆オーラルイントロダクションの積極的活用 高田 裕介 (大分・高)

●「音」で始まり「音」でしめる英語の学び
角崎 祐美 (広島・中)
入門期の音と文字を繋げる工夫から教科書の音読、音声による自己表現、2回目の挑戦である Three Little Pigs のリスニングと音声表現など、音声を使った工夫をあれこれ紹介します。

●プレゼンテーション、スピーチなどによる自己表現の魅力を求めて
竹内 悟 (埼玉・高)
本校で毎年開催されている校内英語スピーチコンテスト。各クラス選から生徒一人ひとりのスピーチ原稿の指導から発表までの取り組みを報告します。

6. 仲間と学び、自ら学ぶ力をどうつけるか

☆友と共に創る英語の授業～コンピテンシー育成を目指して～
武田 千絵 (広島・中)

●“I am here for you.”～じっと見守り、そっと寄り添う～
元田 一雄 (島根・中)
小学校時代に荒れを経験し、学力、学習意欲とも低い生徒たちと悪戦苦闘した記録です。指導方法を見直さざるを得なかった私のささやかな成長の記録でもあります。

●チームで取り組んだ「コミュニケーション英語」授業づくり
葛巻 真希雄 (東京・高)
「コミュニケーション英語」3年間の模索の軌跡を「音声中心の授業」と「協同的な学び」の観点から振り返り、授業困難を乗り越える可能性を検討します。

モーニング・ポエム

8:00~8:40

爽やかな高原の朝に、皆で英詩の音読を楽しみましょう。

ポスターセッション&福島バザール&シリア写真展

12:00~13:15

ポスターセッションでは、パネルに掲示したポスター形式の実践報告・研究成果発表を行います。発表者募集中(6月14日締切)。バザールは自主教材の展示・交流(7月21日締切)。共に大会ホームページから募集要項をご覧ください。素晴らしい教材が手に入ります!

シリア写真展:「揺らぐ文明の中でも変わらぬシリア沙漠の人々の姿」

分科会では、各地からの実践発表を中心にグループ討議などを通して、じっくり学び合います。
☆は、ミニ・レポート。主に大会での発表が初めての方の報告です。

7. 「遅れがちな子」をどう生き生きさせるか ☆勤務校での研究授業について 川村 雅則（神奈川・高）

●どの子もわかり、顔の上がる授業を目指して取り組んできたこと
小美濃 博（東京・中）
“遅れがちな生徒も英語が得意な生徒も、共に支えながら学びあえる授業”を旨とし、単語習得、文法、自己表現など、3年間試行錯誤した授業実践を報告します。

●わかる喜びと世界の広がりをみんなで分かち合おう
西田 陽子（京都・高）
「英語なんて大嫌い」と言うけど、「わかったら楽しい」。仲間とともに教科書を読み進め、英語の基礎を学び、世界を見つめる目を開く。そんな授業を目指して。

9. 平和・環境・人権教育をどう進めるか ☆平和なクラスをめざして 嶺岸 陽子（福島・中）

●今の私に何ができるか～協同学習で考える国際理解～
青木 由美子（新潟・高）
差別、難民、環境、貧困など様々な国際問題を「ひとごと」ではなく「自分のこと」としてとらえる。教科「英語」だからできる深い国際理解と自己表現。

●中学校におけるグローバルシティズンシップ教育の可能性
松倉 紗野香（埼玉・中）
グローバルシティズンシップを育むための英語科の授業とは？本校の「グローバルシティズンシップ科」の授業と英語科との連携について紹介します。

8. 表現力、特に自己表現の力をどう広げ、どう高めるか ☆自己表現の種を育むWarm-upペア活動 佐々木 典子（青森・中）

●生徒の自己表現を作文やスピーチでより豊かに！
尾張 至伸（青森・中）
パラグラフライティングを活用した作文活動で、生徒の自己表現をより豊かに！スピーチ活動では、丸暗記ではなく、より豊かに自己表現するスピーチを目指して！

●Journal 指導と英語紙芝居 Presentation
山口 良二（静岡・高）
大学に入る英語力を身につける事が前提条件だが、そんな中でもやれることがあるはず。OutputからInputへ、InputからOutputへ。コミュ英I、英語表現Iでの1年間の実践報告。

10. 入門期の英語をどうするか ☆国語教科における「外来語」の単元と外国語活動を効果的につなぐ 蒲原 順子（福岡・大学）／祁答院 恵古（東京・小）

●ことばへの気づきを大切にしたい小学校外国語活動
浦谷 淳子（静岡・大）
外国語活動はことばの教育です。外国語にふれることを通して、日本語を再確認し、ことばのおもしろさに気づき、ことばを大切に育てる子どもを育てましょう。

●中1の授業における私のこだわり
日比 和子（神奈川・教育委員会）
小学校での外国語活動をちょっと意識した上で、英語特有のことばのおもしろさに気づかせる場面作りや、チャレンジングな取り組みを紹介したいと思います。

8月1日(月) テーマ別分科会・ワークショップ 9:00～11:00

1. 松川事件資料と世界記憶遺産

伊部 正之（福島大学名誉教授）
1949年8月に福島市郊外で発生した戦後最大の謀略・冤罪事件「松川事件」は、1969年9月全員無罪の判決が確定しました。現在、福島大学松川資料室には10万点を超える貴重な関連資料が保管され、世界記憶遺産への登録をめざしています。

3. 朝河貫一の生涯から学ぶ

武田 徹（元高校教諭）
100年前、福島が生んだ偉人、朝河貫一は日露戦争勝利後の日本国家のありように、自著『日本の禍機』で警鐘を鳴らしました。このことは3.11の福島第一原発事故にも通じると武田氏が熱く語ります。

5. 教科書の本文を楽しく、効果的に扱う方法

羽野 祐司（大分県：中津市立豊陽中学校）
教科書の本文に入ったとたんに、眼の輝きがなくなる……。そんな経験はありませんか？これを改善するためのいくつかの方法を提示します。共に考えましょう。

2. 福島の復旧・復興の現状と課題

今野 順夫（福島大学元学長）
東日本大震災・原発事故後、「ふくしま復興支援フォーラム」を立ち上げ、大学教員、自治体首長、弁護士、医師、市民団体関係者等を講師に100回の学習研究会を継続開催しましたが、その成果と知見をもとに上記テーマに関して報告します。

4. 英語の授業で映像や音声を

野崎 雅和（滋賀県：大津商業高校）
授業で映像や音声を使いたい。でもパソコンでの作り方がわからない。そんな方に簡単にできる方法を紹介します。

6. アメリカの高校生の日記を読む

大浦 暁生（群馬県：中央大学名誉教授）
The Freedom Writers Diary から、高校生の日記を1つか2つ読みます。人種対立と暴力に荒れる地域の中で、高校生たちは自らの姿や心を赤裸々に日記に書き記し、自己と周囲を変えていきます。テキストは当日その場で配布します。

大会参加について

① 参加費

〈全日程参加〉

| | 全国会員 | 未会員 |
|-------|---------|---------|
| 専任教員 | ¥ 8,000 | ¥ 9,000 |
| 講師・一般 | ¥ 5,000 | ¥ 6,000 |
| 学生 | ¥ 1,000 | ¥ 1,000 |

〈1日参加〉

| | 全国会員・未会員 |
|-------|----------|
| 専任教員 | ¥ 4,000 |
| 講師・一般 | ¥ 3,000 |
| 学生 | ¥ 1,000 |

〈記念講演のみ〉

| | |
|--------|---------|
| 会員・未会員 | ¥ 1,000 |
|--------|---------|

※参加申し込み後の取り消しの場合は、参加費の返却はできません。(その際は大会資料を郵送します。)

② 宿泊のご案内

■ 宿泊ホテル

磐梯熱海温泉 ホテル華の湯

■ 1名宿泊料金(原則1室4～8名, 1泊2食付)

13,000円(前泊11,000円)

■ キャンセル料金

7月10日(日)～23日(土): 無料

7月24日(日)～29日(金)17:00まで: 宿泊料金の50%

当日不参加: 宿泊料金の100%

※基本的に相部屋となりますので、同室希望者があればご明記ください。

③ お弁当のご案内

弁当お茶付き1,000円

※取消・変更は前々日12:00迄にご連絡をお願いします。それ以降のお取消しの返金はできません。また、会場周辺には飲食できる店舗が少ないので、予めお含みおきください。

④ 交通のご案内

最終頁をご覧ください。

駐車場は、ホテル駐車場をご利用ください。

⑤ 保育のご案内

〈お預かり時間〉

・7月30日(土)・・・12:00～17:45

・7月31日(日)・・・8:30～17:00

・8月1日(月)・・・8:30～12:00

お預かり費用 / 1日1人@2,000円(3歳以上)

※保険料・おやつ・教具代が含まれます。その他、施設入場料、交通費が必要な場合は実費を頂きます。
※昼食時間は保護者の責任にてお願いいたします。

⑥ その他

・出張依頼状が必要な方は、下記までご請求ください。

■ 瀧口優(新英研会長)

E-mail: takiguchi-masaru@iaa.itkeeper.ne.jp

FAX: 042-312-3682

■ 大会に関するお問合せ先

現地実行委員会: 伊藤正浩(現地大会事務局長)

E-mail: macmasahiro@me.com

FAX: 024-505-4967

■ 参加申し込みについて

- ・参加希望の新英研講座、分科会、テーマ別分科会/ワークショップの記入欄も必ずご記入ください。
- ・お申込みは右頁の「大会参加申込書」で行ってください。例年お送りしていた「参加券」は今年はありません。お申込み後に、「申込確認書」をFaxかメールでお送りしますので、指定された日までに入金をお願いします。

■ FAX: 024-505-4967 Mail: macmasahiro@me.com

■ 郵送先: 〒969-1115

福島県本宮市本宮字立石228-1

■ 担当: 現地実行委員会事務局

伊藤正浩

※申込書は大会HPよりダウンロードできます。申込の受付後、FAXかメールにて、「申込確認書」をお送りします。大会当日受付にてお弁当券などをお渡しします。

※上記書類が届きましたら、7月21日(木)までに下記の口座へお振込みください。尚、お振込手数料は各自ご負担下さい。

東邦銀行 郡山卸町支店
普通預金 449672 ホテル華の湯(ホテルハナノユ)

■ 申込締切日: 7月15日(金)

※大変申し訳ありませんが、今回は諸事情により、締切日以降の参加申込みは可能ですが、宿泊の申込みについてはお受けできませんのでご注意ください。

8月1日(月) オプショナルツアー

A: 富岡町・浪江町・南相馬市 被災地訪問コース

代金 お一人様@6,000円 最少催行人数 25名 募集人員 45名

※現地を案内していただける方が添乗します。

13:00 ホテル発 →(磐越道)→いわきJCT→(常磐道)→富岡IC→富岡町
→第一原発付近通過→浪江町→浪江IC→南相馬IC→飯館村→18:10 福島駅着

B: 裏磐梯自然満喫&野口英世記念館コース

代金 お一人様@5,000円 最少催行人数 25名 募集人員 45名

※五色沼ハイキングにはガイドが同行します。

13:00 ホテル発 → 五色沼ハイキング → 野口記念館
→ 猪苗代湖 → 17:00 郡山駅着 ※歩ける準備を。天候によっては変更あり。

| | | | | | |
|-------------------------|-----|------|-----|----|----------------------|
| 連絡先：現地実行委員会（担当：伊藤） | 受付日 | 受付番号 | 確認書 | 入金 | 宿泊 締め切り日 7月15日（金） |
| FAX：024-505-4967 | | | | | |

※ご注意ください。従来と異なり、宿泊の申し込みが早くなり、期日が決まっています。7月15日（金）以降は、宿泊の申し込みは受けられません。それ以降はご自分で手配いただくことになります。参加申し込みは可能です。

新英研 第53回全国大会 福島大会 参加申込書

| | | | |
|------|---|---|---------------|
| 都道府県 | | 勤務先 | |
| お名前 | (ふりがな) ----- | <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 未会員 | |
| 住所 | 〒() - () | | |
| 連絡先 | <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 | TEL () - | |
| | | 携帯 | - - |
| | 申し込み確認書の受け取り方法 | | メールアドレスかFAX番号 |
| | <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> FAX | | |



| | | | |
|-------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 参加費 | 全日参加 | | 1日参加 |
| | 会 員 | 未会員 | |
| 専任教員 | <input type="checkbox"/> 8,000円 | <input type="checkbox"/> 9,000円 | <input type="checkbox"/> 4,000円 |
| 講師・一般 | <input type="checkbox"/> 5,000円 | <input type="checkbox"/> 6,000円 | <input type="checkbox"/> 3,000円 |
| 学 生 | <input type="checkbox"/> 1,000円 | | <input type="checkbox"/> 1,000円 |
| 講演のみ | <input type="checkbox"/> 1,000円 | | |

参加費

円

| | | | |
|------|--|---|---|
| 参加希望 | 新英研講座 7/30(土) | 分科会 7/31(日) | テーマ別分科会 8/1(月) |
| | I 小学校英語 II 中1・III 中2・IV 中3 V 高校(やさしい教科書) VI 高校(比較的難しい教科書) VII 大学 | 1 教科書・自主教材 2 読み取り 3 英文法 4 音声 5 学力・評価 6 仲間と学ぶ 7「遅れがちな子」 8 自己表現 9 平和・環境・人権 10 入門期 | 1 松川事件 2 福島の復興 3 朝河貴一 4 英語の授業で映像と音声 5 教科書を楽しく 6 アメリカの高校生の日記 |
| | () | () | () |

| | | | |
|--|--|--|--|
| 宿 泊 | 7/29(金)前泊 @11,000円 | 7/30(土) @13,000円 | 7/31(日) @13,000円 |
| | 一泊2食付き。相部屋となります | | |
| | <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要 | <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要 | <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要 |
| ※相部屋を希望されるお連れの方がいらっしゃる場合は、お名前をお書きください。 | | | |
| お連れ様の都道府県名() | | | |

宿泊

円

| | | | |
|-------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| お 弁 当 | 7/30(土) | 7/31(日) | 8/1(月) |
| | <input type="checkbox"/> 1,000円 | <input type="checkbox"/> 1,000円 | <input type="checkbox"/> 1,000円 |

お弁当

円

| | | | |
|---------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 保 育 希 望 | 7/30(土) | 7/31(日) | 8/1(月) |
| | <input type="checkbox"/> 2,000円 | <input type="checkbox"/> 2,000円 | <input type="checkbox"/> 2,000円 |

保育

円

| | |
|---------------------|-----------------|
| お子様のお名前 | (ふりがな) ----- |
| | 性別() 年齢() |
| 特別な支援が必要な場合やアレルギーなど | |

オプションツアー

円

| | |
|----------|--|
| オプションツアー | <input type="checkbox"/> A 被災地訪問コース 6,000円 |
| | <input type="checkbox"/> B 裏磐梯自然満喫&野口記念館コース 5,000円 |

合 計

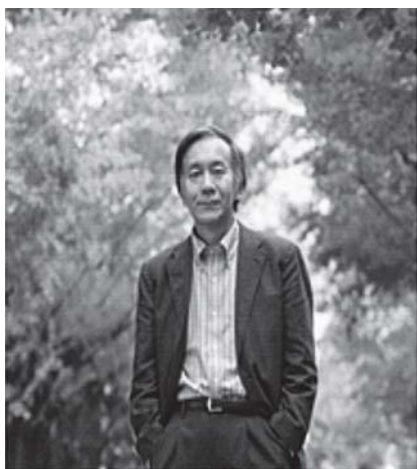
円

7月30日(土) 記念講演

13:45~15:30

※記念講演のみ、ひとり1,000円

戦後70年をこえて 日本人として考えたいこと



講師：高橋 哲哉氏

1956年福島県生まれ。東京大学教養学部教養学科卒業、同大学院人文科学研究科博士課程単位取得。東京大学大学院総合文化研究科教授。専攻は西洋哲学、現代思想。2004年に同研究科に設置された「人間の安全保障」プログラムでは、「人間の安全保障基礎論」「生命と尊厳」を担当する。歴史認識、憲法、教育、原発・基地問題など、現代社会の思想的諸問題についても活発に発言。韓国、中国、フランスで翻訳出版された著書も少なくない。主な著書に、『記憶のエチカ』、『証言のポリティクス』、『デリダ 脱構築』、『反哲学入門』、『戦後責任論』、『歴史／修正主義』、『靖国問題』、『国家と犠牲』等、近著に『犠牲のシステム 福島・沖縄』、『沖縄の米軍基地「県外移設」を考える』、『フクシマ以後の思想を求めて』（共著）、『憲法のポリティクス』（共著）等がある。

磐梯熱海温泉 ホテル華の湯へのアクセス

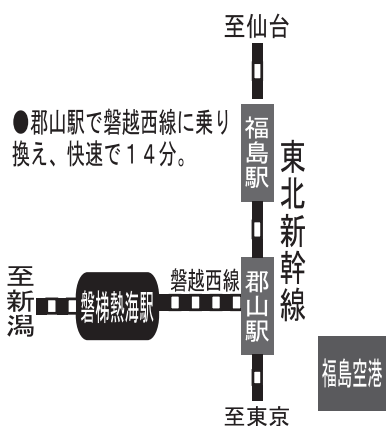
〒963-1309 福島県郡山市熱海町熱海5丁目8-60 TEL:024-984-2222

交通のご案内

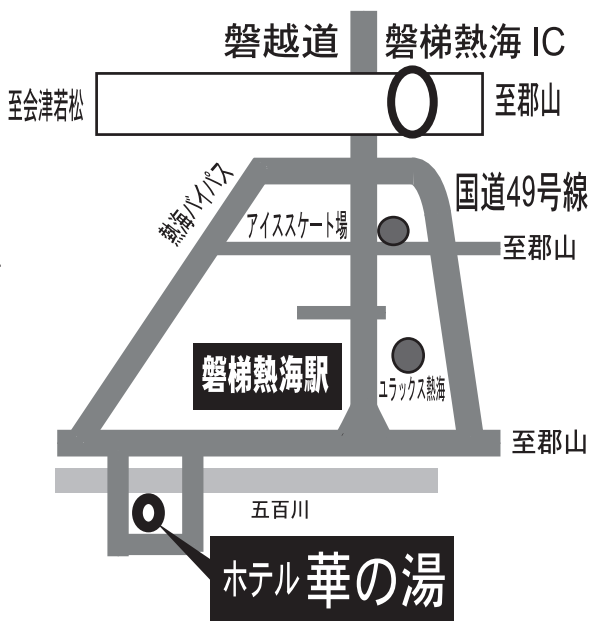
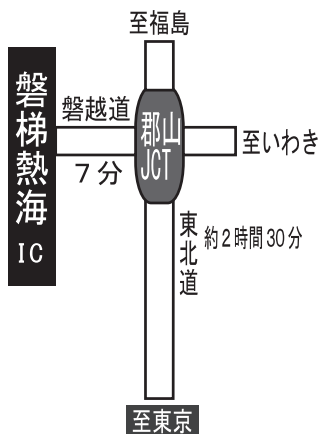
福島県の中心部 アクセスもラクラク

- 磐越道・磐梯熱海 IC 約5分
- 福島空港から車で約35分
- 東北道・郡山 IC より約25分
- 郡山駅より快速14分で磐梯熱海駅
- 磐梯熱海駅より車で約3分

鉄道でのアクセス



車でのアクセス



※磐梯熱海駅からはホテルのシャトルバスが運行しています。列車の時間に合わせて運行しています。6月に新英研のホームページなどに時刻表を載せます。